

三 中 校 長 だ よ り

第6号



学校教育目標：「優しさ・賢さ・たくましさを備えた
社会人基礎力の育成」

藤井寺市立第三中学校
令和8年（2026年）6月



それぞれの責任、それぞれの役割

校長 寺田 剛

6月25日は本校の創立記念日です。昭和55年に創立開校して今年で46年を迎えました。

47期生の3年生は、6月14日から16日に岐阜県へ修学旅行に行きました。中学校生活の中で一番大きな行事であるといい修学旅行。お天気にも恵まれ、林業体験や講話、レクレーション、ラフティングやアスレチック、ハーバリウム体験、飛騨高山の散策など、予定していた活動をすべて実施することができました。学校での生活とは違った生徒の様子も見ることができました。私が乗っていた帰りのバスでは、学校に近づくにつれ、「学校に着いてほしくないなあ」「帰りたくないなあ」「バスの中でもええからみんなと泊まりたいなあ」など、修学旅行が終わってしまうのを名残惜しそうにしている生徒の声が聞こえてきました。

出発式で、私は3年生の皆さんに「楽しく学びの多い、素敵なお思い出となる修学旅行にしてほしい」と伝えましたが、多くの生徒にとってそのような修学旅行になったのではないかと、思います。

しかし、そのような修学旅行にするためには、修学旅行当日だけでなく、日々の生活の過ごし方が本当に大事です。

学校生活については、生徒の多くが授業に集中している一方で、授業の準備もせずに寝ていたり、先生の指示を聞かずに勝手に話をしていたり、タブレット端末でゲームをしていたりする姿も見られます。なかには、授業中に大きな声や物音を出す生徒もいます。他人のことを傷つける言動をする生徒もいます。それぞれに自分なりの理由はあるのかもしれませんが、学校生活において全ての生徒が安心・安全に過ごせるように様々なきまりがあり、「理由があれば何をしてもいい」ということは絶対にありません。

中学校は義務教育最後の3年間です。ここで身につけるべきことは、教科の学力だけでなく、社会で生活を送るうえで必要な「ルールを守る力」、多様な人と相手のことを思いやりながら「共に過ごす力」、そして、自分の欲望や感情、衝動を自分で抑え、「自分行動を正しくコントロールできる力」です。これらは自然に身につくものではありませんし、それらの力が身につけていないと、将来、社会に出たときに本人たちが苦しむことになります。

子どもたち自身、それぞれの責任と役割を果たす必要がありますが、私たち大人にも、子どもを着実に成長させるため、それぞれの責任と役割を果たす必要があります。子どもたちの生活の基盤であるご家庭において、「授業を大切にすること」や「周囲への配慮」、「自分のためだけでなく、みんなのためにどう過ごすべきか」をお子様と向き合ってお話いただき、必要なことはご指導をお願いいたします。私たち教職員も子どもの「成長を促す指導」に全力を尽くします。